令和８年度　第２７回国頭地区新人空手道競技大会要項

（第５３回　国頭地区中学校新人総合体育大会　空手道競技）

1　主催　　国頭地区中学校体育連盟

2　共催　　沖縄県教育委員会

3　日時　　令和８年　１１月　２２日（日）
集合 9：00（マット設営開始）　監督会 9：30　　審判会議 9：45　　開始 10：15

4　会場　　金武町立金武中学校

5　企画・運営　　地区中体連空手道専門部

6　競技種目　　○男子個人組手・形　　○女子個人組手・形
※男女とも学年プールで行う。

7　参加人数　　男女とも参加人数の制限はない。
選手の引率、監督は当該校の教職員及び当該団体の責任者とする。

8　競技規則　　（公財）全日本中学校空手道連盟競技規定に準じ、監督会の申し合わせ事項に従って行う。

9　競技方法　　（１）形競技（個人戦）
① 赤青フラッグ制のトーナメント方式とする。
② １・２回戦は第１指定形から選ぶ。（くり返し可）
③ ３回戦から準々決勝までは第２指定形から選ぶ。（くり返し可）
④ 準決勝と決勝は競技形リストから選ぶ。
ア、準決勝と決勝は別の形とする。
イ、それまでに使用した形（第１・２指定形）を１つ再使用してもよい。
⑤ ２回戦または３回戦が準決勝となった場合は、第２指定形から選ぶ。決勝は競技形とし、それまでに使用していない形とする。
⑥ 準々決勝から個別演武とし、事前に形名を申告する。それまでは、同時演武とし、事前の形名の申告は不要とする。

（２）組手競技については次の通りとする。
①１分３０秒６ポイント差で行う。同ポイントの場合は、フラッグ判定とする。
②時間内に勝敗がつかない場合は、「先取」した競技者を勝者とする。「先取」が無い場合、旗判定を行う。
③競技者はニューメンホー、ボディプロテクター、拳サポーター（全国中学校空手道連盟認定の赤・青とする。セーフティーカップを着用し、寸止めルールに従い安全具着用個所をポイントとする。
※参加人数により競技方法の変更もありえる。その場合、全監督に連絡し確認する。

10　組み合わせ　　本部抽選　（第２９回　沖縄県中学生新人空手道競技大会の結果を参考にする）

11　参加料　　一人につき５００円

12　申し込み　　令和８年　１１月２日（月）　１５：００　締め切り　（桜中学校　倉家）

13　監督会議　　実施なし　※　参加監督に LINE 等で抽選結果及び詳細をお送りします。

14　表彰　　優勝・準優勝・３位を表彰する。

15　その他　　・安全具は各学校で準備する
・参加心得を守り競技を行う
・ゴミは各自で持ち帰ること
・各学校の引率教員に大会役員（補助員）を割り当てる。
・引率者の服装は白のワイシャツかブラウス・ポロシャツで統一とする。

第２７回国頭地区中学校新人総合体育大会空手道競技「細則」

１ 選手の服装など

（１）空手着は白無地一色とし、落書きやふちどりのあるものは禁止とする。
（２）学校名、団体名が左胸にあること。（文字は黒色の縦書きで20 ㎝×8 ㎝程度、安全ピンで留めてある場合は棄権とする）
（３）上着の袖の長さは、最長手首までとし、肘から手首の間の中ほどより短くてはならない。
（４）ズボンの長さは、脛を覆うほどの長さとし、踝が隠れてはならない。
（５）競技者は手足の爪を短くし、相手に傷を与えるような物を身につけてはならない。
（６）女子選手の髪留めのゴムバンドは黒か茶のみとする。その他の装飾品は認めない。
（７）女子の肌着は白無地のＴシャツとする。（ワンポイント、校名は認める）
（８）競技者の服装が正しくなかった場合、服装を正すために１分間が与えられる。（正せない場合は失格）
（９）空手着のヒモは結ぶこと。ヒモなしの空手着は不可とする。
（10）帯の長さは、大腿部の３／４を超えない程度とする。また、帯留めは使用してはならない。

２ 形競技

（１）「（公財）全日本空手道連盟指定形」とは以下の形である。

【第１指定形】
・糸東流（セイエンチン、バッサイダイ）
・剛柔流（サイファ 、セーパイ ）
・松濤館流（カンクウダイ、ジオン ）
・和道流（セイシャン、チントウ ）

【第２指定形】
・糸東流（マツムラローハイ、ニーパイポ）
・剛柔流（セイサン、クルルンファ ）
・松濤館流（エンピ、カンクウショウ ）
・和道流（クーシャンクー、ニーセイシー）

（２）団体形の演武において発声が認められるのは「形の呼名」と「演武中の気合い」のみとする。
（３）使用できる形の種類は次の通りとする。

	使用できる形
1，2回戦	第１指定形、鉄騎（ﾅｲﾊﾝﾁ）初段～3段、三戦、撃砕Ⅰ・Ⅱ　平安（ﾋﾟﾝｱﾝ）初段～5段
3回戦から準々決勝	第2指定形
準決勝、決勝	競技形　（決勝と準決勝は別の形を使用し、どちらか一方は一度も使用していない形を使用する）

（４）演武開始の礼と終了の礼をしなかった場合、反則となり得る。
※参加人数により競技方法の変更もありえる。

３ 組手競技

（１）得点となる攻撃部位は下記の通り。
「頭部」、「顔面」、「頚部」、「腹部」、「胸部」、「背部」「わき腹」である。
（２）得点の種類は下記の通り。
「１本」＝３ポイント、「技あり」＝２ポイント、「有効」＝１ポイント
（３）下記を基準に得点部位への技に対し点が与えられる。
「良い姿勢」、「スポーツマンらしい態度」、「気力」、「残心」、「適切なタイミング」、「正確な距離」